

生産規模拡大へ、再加速! —北部九州の自動車産業—

日産自動車九州工場の生産ライン



当初見込みから一転

自動車 前年度実績越えに
各社

九州の自動車生産は世界規模の金融危機として東日本大震災を起因とした部品供給網の断絶というモノづくりの危機を乗り越えて、回復傾向をみせている。九州経済産業局による11年6月の業種別生産動向で、普通乗用車や小型・軽自動車の生産が上向いていることが分かった。「北部九州自動車150万台先進生産拠点推進フォーラム」の場で語られた九州に工場を有する自動車メーカーと北部九州全体の現状と展望を紹介する。

「北部九州自動車150万台先進生産拠点推進フォーラム」の総会で、福岡県知事・岡田豊が、九州に拠点を置く自動車メーカー4社のトップが生産状況や今後の計画などを説明した。2011年度の生産台数は東日本大震災による減少予想から一転、3工場が10年度実績を上回りそうだと、トヨタ自動車九州(福岡県宮崎市)は、8月以降、10年度(33万7000台)を大きく上回る見通しを表明。「震災による減産を下期で盛り返し、38万台を挙げながら11年度は30万5000台まで持っていく」と展望を語った。

トヨタ自動車九州(福岡県宮崎市)は、8月以降、10年度(33万7000台)を大きく上回る見通しを表明。「震災による減産を下期で盛り返し、38万台を挙げながら11年度は30万5000台まで持っていく」と展望を語った。

トヨタ自動車九州(福岡県宮崎市)は、8月以降、10年度(33万7000台)を大きく上回る見通しを表明。「震災による減産を下期で盛り返し、38万台を挙げながら11年度は30万5000台まで持っていく」と展望を語った。

トヨタ自動車九州(福岡県宮崎市)は、8月以降、10年度(33万7000台)を大きく上回る見通しを表明。「震災による減産を下期で盛り返し、38万台を挙げながら11年度は30万5000台まで持っていく」と展望を語った。

産学官連携も活発化

高機能部品と高度生産技術の開発を目指して、産学官が一体となった共同研究も進んでいる。11年度に実施するテーマには「耐熱・難燃性マグネシウム合金」など、自動車部品に求められる性能向上に向けた研究が中心。また、福岡県工業技術センターなど、産学官連携の推進機関も、産学官の連携を促進している。

高機能部品と高度生産技術の開発を目指して、産学官が一体となった共同研究も進んでいる。11年度に実施するテーマには「耐熱・難燃性マグネシウム合金」など、自動車部品に求められる性能向上に向けた研究が中心。また、福岡県工業技術センターなど、産学官連携の推進機関も、産学官の連携を促進している。

高機能部品と高度生産技術の開発を目指して、産学官が一体となった共同研究も進んでいる。11年度に実施するテーマには「耐熱・難燃性マグネシウム合金」など、自動車部品に求められる性能向上に向けた研究が中心。また、福岡県工業技術センターなど、産学官連携の推進機関も、産学官の連携を促進している。

人材育成も進行

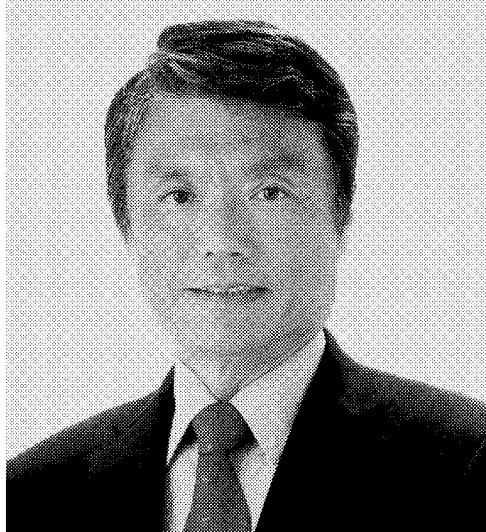
高機能部品と高度生産技術の開発を目指して、産学官が一体となった共同研究も進んでいる。11年度に実施するテーマには「耐熱・難燃性マグネシウム合金」など、自動車部品に求められる性能向上に向けた研究が中心。また、福岡県工業技術センターなど、産学官連携の推進機関も、産学官の連携を促進している。

円高是正を要求

同総会では「円高是正を要求する緊急決議」が行われた。小川知事は、北部九州の産学官が総力を挙げて取り組んでいる経緯を踏まえ、北部九州の自動車産業は、地域経済や雇用を先導するリーディング産業であることと強調。企業努力の限界を超えた現在の円高傾向に対して、「現在の円高が国の経済状況を反映している」として、円高是正を求め、政府が直接的な対策を講ずるよう緊急決議を行うことを求めた。

同総会では「円高是正を要求する緊急決議」が行われた。小川知事は、北部九州の産学官が総力を挙げて取り組んでいる経緯を踏まえ、北部九州の自動車産業は、地域経済や雇用を先導するリーディング産業であることと強調。企業努力の限界を超えた現在の円高傾向に対して、「現在の円高が国の経済状況を反映している」として、円高是正を求め、政府が直接的な対策を講ずるよう緊急決議を行うことを求めた。

北部九州から、元気の輪を広めたい



福岡県知事 小川 洋氏

福岡県は自動車の開発から生産までを一貫して担える先進生産拠点を目標として「北部九州自動車150万台先進生産拠点推進プロジェクト」を推進している。推進会議をはじめとする関係の皆さまのご尽力により、北部九州は

福岡県は自動車の開発から生産までを一貫して担える先進生産拠点を目標として「北部九州自動車150万台先進生産拠点推進プロジェクト」を推進している。推進会議をはじめとする関係の皆さまのご尽力により、北部九州は

福岡県は自動車の開発から生産までを一貫して担える先進生産拠点を目標として「北部九州自動車150万台先進生産拠点推進プロジェクト」を推進している。推進会議をはじめとする関係の皆さまのご尽力により、北部九州は

福岡県は自動車の開発から生産までを一貫して担える先進生産拠点を目標として「北部九州自動車150万台先進生産拠点推進プロジェクト」を推進している。推進会議をはじめとする関係の皆さまのご尽力により、北部九州は

“非鉄鍛造・ダイカスト”のエキスパート企業

TOBATA TURRET

・非鉄鍛造(真鍮、銅、アルミ、etc) ・アルミダイカスト加工
・摩擦圧接加工 ・精密切削加工 ・表面処理(外注)ほか

自動車部品の軽量化を実現する
戸畑ターレットの“高速恒温鍛造技術”

株式会社 戸畑ターレット工作所
本社工場 〒800-0211 北九州市小倉南区新曾根11-31 TEL:093-471-7403 FAX:093-471-7808
第2工場 〒800-0205 北九州市小倉南区沼南町3-18-15 TEL:093-475-8864 FAX:093-475-8865
<http://www.t-turret.co.jp/>

株式会社 大阪精密



株式会社 大阪精密
担当 北野

私たちは、「金型ドクター」です。

海外生まれの金型、生まれ故郷が無くなった金型などのメンテナンスで困りではありませんか？
当社は海外製の金型、および他社製の金型のメンテナンス業務を積極的に展開しております。

- ① 定期メンテナンス(分解掃除)
- ② 金型破損修理(土、日、祝、対応可能)
- ③ PLI/バリ修理など(土、日、祝、対応可能)
- ④ 設計変更、成形効率改善のための変更など

株式会社 大阪精密
本社工場 〒581-0036 大阪府八尾市沼4丁目2番3号 TEL (072) 920-2951 FAX (072) 920-2935
行機工場 〒824-0022 福岡県行橋市大字福地613-1 TEL (0930) 28-9012 FAX (0930) 28-9013
E-mail doctor.k@osaka-seimitsu.co.jp URL <http://www.osaka-seimitsu.co.jp/>

FITの研究を企業の力に!

福岡工業大学では社会で必要とされている最先端の知識と技術を活用し、産学連携を積極的に推進しています。

■ 本学の自動車産業分野に関する研究シーズ

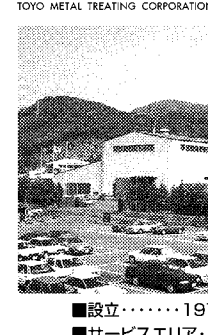
電気自動車 燃料電池 部品の超精密加工
リニアジェネレーター ダンパー
居眠り防止等の安全装置

FIT福岡工業大学
〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1 総合研究機構
TEL 092-606-3236 URL <http://fit.ac.jp/sangaku/>

福岡県の自動車産業振興を応援いたします

福岡ものづくり産業振興会議
(事務局 社団法人 福岡県機械金属工業連合会内)
〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9-15 福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL 092-612-5177 FAX 092-612-5178
URL <http://www.fukukiren-monodzukuri.jp>

Tonez



九州東熱株式会社
代表取締役社長 大田 照雄

幅広い種類の素材熱処理が可能な専門工場

- 特徴
 - 大阪・高砂各工場で発展した流れを受け継ぎ、独自の研鑽を重ねた技術で、九州、山口地域の顧客ニーズに対応
 - スポット品から量産品まで受注納期を確保
 - グラム単位からトン単位まで豊富な実績
 - 大形素材は最大50トンまで可能
 - 棒鋼(長尺)は後処理機まで一貫受注
 - 高速回転部品(φ1m×長さ4m)は専用設備で最高品質の処理
- 熱処理加工内容
 - 焼入焼戻し ● 固溶熱処理 ● 焼なまし 焼なまし
 - 無酸化焼入焼戻し ● ガス炭素焼入焼戻し ● ガス窒化
 - アルミ合金の熱処理

九州東熱株式会社
〒803-0186 北九州市小倉南区新道寺936番地3
TEL 093-451-1821 FAX 093-451-3675
<http://www.tonez.co.jp>

油圧のプロ集団「油圧のことはリョーワに聞け!!」

がんばれ油圧!! 油圧装置の急な停止や油圧配管の破裂など、装置に関するトラブルは、当社にお任せください!

当社ホームページで、さまざまなトラブル対応事例をご紹介します!
油圧メンテナンス 検索
<http://www.e-ryowa.com>
株式会社リョーワ 〒800-0304 福岡県京都郡小倉町高島町10-5
TEL 093-436-0113 FAX 093-436-4366

製品開発、技術課題の解決へ!

福岡県工業技術センターは県下4つの研究所で県内企業の技術支援を行います。

化学繊維研究所(筑紫野市) セラミックス・高分子材料、繊維関係 092-925-7402
機械電子研究所(北九州市) 機械、金属材料、電子技術関係 093-691-0231
インテリア研究所(大川市) 木質系材料、家具関係 0944-86-3259
生物食品研究所(久留米市) バイオ、食品関係 0942-30-6644
企画管理部(筑紫野市) 工業技術センター全体の企画調整 TEL:092-925-5977 FAX:092-925-7724



「知」の集積を目指して10年。北九州学術研究都市

10月19日(水) 講演者 奥村 直樹氏
10周年記念式典・記念講演 開催
総合科学技術会議議員
元新日本製鐵(株)代表取締役副社長
10月19日(水)～21日(金) 第11回産学連携フェア同時開催
入居企業募集中!
● 貸研究室月額 2,500円/㎡(共益費含む)
● 研究開発助成金制度あり
財団法人 北九州産業学術推進機構
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号 産学連携センター1階
<http://www.ksrp.or.jp/> E-mail: info@ksrp.or.jp
Tel 093-695-3111 Fax 093-695-3010